

授業計画

2020年度

◇ 明美文化服装専門学校 ◇

◇ 目次 ◇

実務経験のある教員一覧	P 2
服装造形	P 3 ~P 6
イラストレーター	P 7 ~P10
パターンメイキング	P11~P14
CAD	P15~P18
ドレーピング	P19~P21
F・B マーケティング	P22~P23
デザイン画	P24~P27
ディスプレイ	P28
色彩	P29~P30
文章の書き方(高等課程)	P31
総合デザイン(高等課程)	P32
デザイン画(高等課程)	P33
服造 (高等課程)	P34~36
概論 (高等課程)	P37

実務経験のある教員

教員名	科目名	実務経験
田中 陽子	服造・イラストレーター	婦人服デザイナー・パタンナー 8年 ベビー用企画 2年
詳 細		
アパレルでのデザイン・パターンの実務経験を活かし、服飾造形および実際の商品への企画・販売展開を教えている。		
教員名	科目名	実務経験
間瀬 利永子	パターンメイキング・CAD	パタンナー 13年
詳 細		
パタンナーの実務経験を活かし、パターンメイキングおよびCADを使用したパターン作成を教えている。		
教員名	科目名	実務経験
稲守 正一	F・Bマーケティング	アパレル商品企画・デザイナー 25年 フリーランスデザイナー 3年 ショップディレクションプランナー 3年
詳 細		
アパレル商品企画、デザイン、マネジメントの経験を活かし、実践を教えている。 ショップからの視点で考察。		
教員名	科目名	実務経験
北野 淳子	デザイン画	デザイナー 1年
詳 細		
デザイナーの実務経験を活かし、アパレルにおけるデザインの基礎およびデザイン画の描法を教えている。		
教員名	科目名	実務経験
澤田 ひとみ	ディスプレイ・カラー	ディスプレイコーディネーター 33年
詳 細		
ディスプレイコーディネーターの実務経験を活かし、店舗ディスプレイの基礎からプランニングおよびショーイング等を教えている。		

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程1年 服造	必修	21	田中 陽子	学内教員

授業の目的

服飾に関する基礎を学び、デザインする力、形にする技術を身に付ける。

到達目標

自分のデザインを形にし、着用できる洋服を仕上げる。パターンへの理解、カラー、素材を選ぶ感覚を学ぶ

授業概要

服飾造形基礎、デザイン、パターンメイキングとドレーピング、ソーイング、ハンガーイラストと縫製指示書、デザイン展開と作図方法

授業計画

① スカート (100)	概論18コマ 実物制作・デザイン5	素材2 パターン10	製図20 ソーイング45
② 原型 (40)	概論10	製図5 パターン25	
③ ブラウス (100)	概論20 ソーイング30	製図20	実物制作・デザイン10 パターン20
④ パンツ (100)	概論20 パターン20	芯地2 ソーイング40	製図10 実物制作・デザイン8
⑤ ワンピース (100)	概論18 パターン、トワル25	アイロン、付属2 ソーイング40	製図10 実物制作・デザイン5
⑥ ショー作品 (180)	グループワーク20	デザイン20 パターン60	ソーイング80
⑦ 修了作品 (140)	デザイン20	パターン40	ソーイング80
⑧ その他 (80)	市場調査、セミナー、インターン、研修旅行、明美ファッションショー 修了作品展など		

評価方法

5～1 出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚
3分の2 必 必 30% 50% 20%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・パターン塾・装苑（文化出版局）織研新聞など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 服造	必修	21	田中 陽子	学内教員

授業の目的

服飾に関する基礎を学び、デザインする力、形にする技術を身に付ける。

到達目標

自分のデザインを形にし、着用できる洋服を仕上げる。パターンへの理解、カラー、素材を選ぶ感覚を学ぶ

授業概要

服飾造形基礎、デザイン、パターンメイキングとドレーピング、ソーイング、ハンガーイラストと縫製指示書、デザイン展開と作図方法

授業計画

① 子供服 (80)	概論 12 コマ 素材 8 実物制作・デザイン 5 パターン 10 ソーイング 45
② ジャケット (160)	概論 20 製図 30 実物制作・デザイン 10 パターン、トワル、仕様書 40 ソーイング 60
③ ベスト (100)	概論 20 製図 20 実物制作・デザイン 10 パターン 20 ソーイング 30
④ ショー作品 (240)	グループワーク 20 デザイン 20 パターン 100 ソーイング 100
⑤ 修了作品 (120)	デザイン 10 パターン、トワル 30 ソーイング 80
⑥ 修了作品用小物 (40)	デザイン 10 パターン 10 ソーイング 20
⑦ その他 (100)	市場調査、セミナー、インターン、研修旅行、明美ファッションショー 修了作品展など阿

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚
3分の2	必 必 10% 60% 30%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・パターン塾・装苑（文化出版局）織研新聞など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 服造	必修	21	田中 陽子	学内教員

授業の目的

就職に向けての職業の理解、市場に沿った商品企画と売れる商品とは何かを考える。オリジナルデザインを考える。

到達目標

テーマからオリジナルデザインを発想し、形にする。商品企画をする。

授業概要

服飾造形基礎、デザイン、パターンメイキングとドレーピング、ソーイング、ハンガーイラストと縫製指示書、デザイン展開と作図方法、商品の企画、就活ポートフォリオの説明

授業計画

- | | | | | | | | |
|---|-----------------|--|-----------------|--------------|-----------|--|--|
| ① | フォーマルウエア (160) | 概論 20 コマ | 素材 10 | 製図 20 | | | |
| | | 実物制作・デザイン 10 | パターン、トワル、仕様書 40 | ソーイング 60 | | | |
| ② | ラグランスリーブ (160) | 概論 20 | 製図 30 | | | | |
| | | 実物制作・デザイン 10 | パターン、トワル、仕様書 40 | ソーイング 60 | | | |
| ③ | カットソーアイテム (100) | 概論 20 | 製図 20 | 実物制作・デザイン 10 | | | |
| | | パターン 20 | ソーイング 30 | | | | |
| ④ | ショー作品 (200) | グループワーク 20 | デザイン 20 | パターン 100 | ソーイング 100 | | |
| ⑤ | 修了作品 (120) | デザイン 10 | パターン、トワル 30 | ソーイング 80 | | | |
| ⑥ | その他 (100) | 市場調査、セミナー、インターン、研修旅行、明美ファッションショー
修了作品展など阿 | | | | | |

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚
3分の2	必 必 10% 60% 30%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・パターン塾・装苑（文化出版局）織研新聞など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程4年 服造	必修	21	田中 陽子	学内教員

授業の目的

就職に向けての職業の理解、市場に沿った商品企画と売れる商品とは何かを考える。オリジナルデザインを考える。自己アピールの仕方を工夫する。

到達目標

テーマからオリジナルデザインを発想し、形にする。商品企画をする。プレゼンテーションをする。

授業概要

服飾造形基礎、デザイン、パターンメイキングとドレーピング、ソーイング、ハンガーイラストと縫製指示書、デザイン展開と作図方法、商品の企画、就活ポートフォリオの説明、プレゼンテーションの仕方

授業計画

① 特殊素材 (60)	概論 20 コマ	素材 20	製図 20	
② 高級素材 (160)	概論 10	素材 20	製図 20	実物制作・デザイン 10 パターン、トワル、仕様書 40 ソーイング 60
③ 自由作品 (100)	概論 20	製図 20		実物制作・デザイン 10 パターン 20 ソーイング 30
④ ショー作品 (200)	グループワーク 20	デザイン 20	パターン 100	ソーイング 100
⑤ 修了作品 (120)	デザイン 10	パターン、トワル 30		ソーイング 80
⑥ その他 (200)	市場調査、セミナー、就職試験、研修旅行、明美ファッションショー 修了作品展など			

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚
3分の2	必 必 10% 60% 30%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・パターン塾・装苑（文化出版局）織研新聞など

科目名	必修・選択	単 位	担当教員	教員区分
専門課程1年 イラストレーター	必修	2	田中 陽子	学内教員

授業の目的

イラストレーターソフトを使用し、デザイン・企画方法を学ぶ。自分のデザインをプレゼンテーションするだけでなく、他の生徒のデザインの評価、デザインの意図を理解する。

到達目標

イラストレーターを使い、ハンガーイラスト・プリントのデザインをする。保存方法と出力を学ぶ

授業概要

イラストレーターの特徴、イラストの構成方法の理解と作図方法、カラー展開とオブジェクトについて概論
イラスト作成、出力、展示、プレゼンテーション、グループワーク、デザイン総評

授業計画

1. ガイダンス（6）
 - ・授業の目的
 - ・タイムテーブルの確認
 - ・使用方法とデータ保存方法
2. イラストの構成方法、描き方（12）
 - ・デモンストレーション
 - ・個別指導
 - ・デザイン確認
3. イラスト作成（46）
 - ・ハンガーイラスト（白黒）
 - ・プリントデザイン（水玉、チェック、ストライプ）とカラーバリエーション
4. データ出力とデザイン・カラー修正（10）
5. プレゼンテーションとグループワーク（6）
 - ・コンセプトを説明する
 - ・デザインの意図を汲み、評価する
 - ・自分のデザインの修正点を見つける

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚、プレゼン力
3分の2	必 必 10% 40% 30% 20%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・装苑（文化出版局）、織研新聞、インターネット、ファッション雑誌など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 イラストレーター	必修	2	田中 陽子	学内教員

授業の目的

イラストレーターソフトを使用し、デザイン・企画方法を学ぶ。自分のデザインのプレゼンテーションをするだけでなく、他の生徒のデザインの評価、デザインの意図を理解する。

到達目標

イラストレーターを使い、コーディネート企画、子供スタイル画、総柄プリントのデザインをする。

授業概要

プリントデザインの仕方とカラー展開、コーディネートの企画立案方法、子供スタイル画のバランス出力、展示、プレゼンテーション、デザイン総評

授業計画

1. ガイダンス（6）
 - ・授業の目的
 - ・タイムテーブルの確認
2. 総柄プリントの構成方法とカラー展開（6）
 - ・デモンストレーション
 - ・個別指導
 - ・デザイン確認
3. プリント作成（12）
 - ・総柄プリントとカラー展開
4. 子供スタイル画作成・コーディネート企画立案（38）
 - ・デモンストレーション
 - ・等身バランスと年齢
 - ・縫製仕様書の書き方
5. データ出力とデザイン・カラー修正（12）
6. プレゼンテーション（6）
 - ・コンセプトを説明する
 - ・デザインの意図を組み、評価する
 - ・自分のデザインの修正点を見つける

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚、プレゼン力
3分の2	必 必 10% 40% 30% 20%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・ファッションデザイン画・装苑（文化出版局）、織研新聞、インターネット、ファッション雑誌など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 イラストレーター	必修	2	田中 陽子	学内教員

授業の目的

商品企画の仕方を学び、就活用ポートフォリオを作成。自分の企画のプレゼンテーションをする

到達目標

フォトショップを使い、写真の加工を学ぶ。イメージマップとブランド企画を作成する。

授業概要

イメージマップ、シーズン別ブランド商品企画、商品カード、パッケージデザイン、オリジナルブランドネームデザイン、出力、展示、プレゼンテーション、デザイン総評

授業計画

1. ガイダンス（2）
 - ・授業の目的
 - ・タイムテーブルの確認
2. フォトショップの説明とイラストレーターとの互換性（2）
 - ・デモンストレーション
 - ・個別指導
 - ・写真加工について
3. イメージマップ作成（18）
 - ・商品イメージとコーディネート企画の仕上げ
4. シーズン商品企画（46）
 - ・コーディネートスタイル画
 - ・カラー展開と配置
 - ・文字デザインと商品カード
5. データ出力とデザイン・カラー修正（6）
6. プレゼンテーション（6）
 - ・コンセプトを説明する
 - ・デザインの意図を組み、評価する
 - ・自分のデザインの修正点を見つける

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚、プレゼン力
3分の2	必 必 10% 30% 20% 40%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・ファッションデザイン画・装苑（文化出版局）、織研新聞、インターネット、ファッション雑誌など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程4年 イラストレーター	必修	2	田中 陽子	学内教員

授業の目的

イラストレーター・フォトショップを使用し、デザイン・企画方法を学ぶ。自分のデザインのプレゼンテーションをするだけでなく、他の生徒のデザインの評価、デザインの意図を理解する。

到達目標

イラストレーター、フォトショップを使用し、立体作品のデザインとグラフィックポスター、商品パッケージを作成する。売れる商品とは何か学ぶ。

授業概要

自己PRの分析、就活用ポートフォリオを工夫する。コーディネート企画立案、立体作品とポスター出力、展示、プレゼンテーション、デザイン総評

授業計画

1. ガイダンス（4）
 - ・授業の目的
 - ・タイムテーブルの確認
2. 立体作品のデザインと製図（4）
 - ・デモンストレーション
 - ・個別指導
 - ・デザイン確認
3. オリジナルボックス作成（18）
 - ・平面構成と立体構成
 - ・カラーバランス
4. ポスター作成（18）
 - ・カラーバランスと文字デザイン
5. 就活用ポートフォリオ仕上げ（18）
6. データ出力とデザイン・カラー修正（12）
7. プレゼンテーション（6）
 - ・コンセプトを説明する
 - ・デザインの意図を組み、評価する
 - ・自分のデザインの修正点を見つける

評価方法

5～1	出席日数、課題提出、単位認定試験、授業姿勢、提出物評価、デザイン感覚、プレゼン力
3分の2	必 必 10% 20% 30% 40%

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座・ファッションデザイン画・装苑（文化出版局）、織研新聞、インターネット、ファッション雑誌など

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程1年 パターンメイキング	必修	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解するとともに、パターンメイキングとドレーピングの基礎を学ぶ。

到達目標

婦人の原型を作成。原型の展開方法とシルエットの関係性を理解する。
パターンメイキング検定対策として、ブラウス工業用パターンの知識を習得する。

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでシルエット展開を行い、ドレーピングで組み立てる。
検定対策として、ファーストパターンと工業用パターンの特性を理解した作図方法を習得する。

授業計画

- I 婦人原型の理解
- ① 講義「婦人体型の理解と原型の基礎」(2)
 - ② 演習「婦人原型ドレーピングデモ」(1)
 - ③ 実技「婦人原型のパターン作成とドレーピング」(10)
- II 婦人原型【基礎展開I】
- ① 講義「ボックスシルエットからウェストシェイプシルエットへの展開〈2種類〉(4)
 - ② 演習「ウェストシェイプシルエット2種 ドレーピングデモ」(2)
 - ③ 実技「ウェストシェイプシルエットのパターン作成とドレーピング」(12)
- ① 講義「衿4種(シャツカラー・台衿付きシャツカラー・スタンドカラー・フラットカラー)」(4)
 - ② 演習「衿4種のドレーピングデモ」(4)
 - ③ 実技「衿4種のパターン作成とドレーピング」(12)
- ① 講義「袖原型」「袖原型からの展開(パフスリーブ)」(4)
 - ② 演習「袖付けのドレーピングデモ」(2)
 - ③ 実技「袖のパターン作成とドレーピング」(6)
- III 検定対策
- 講義「シャツシルエットの基礎・ファーストパターンから工業用パターンへ」(3)
- 実技「シャツシルエット工業用パターン作成」(14)

評価方法

5～1で表す
授業態度(10%) 作品完成度(50%) 試験(40%)

主要教材

PM3級テキスト、服飾造形の基礎、文化ファッション大系服飾造形講座(ブラウス)
その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 パターンメイキング	必修	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解するとともに、パターンメイキングとドレーピングの基礎を学ぶ。

到達目標

婦人の原型から各種シルエットへの展開方法と、シルエットの関係性を理解する。
パターンメイキング検定対策として、ジャケット工業用パターンの知識を習得する。

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでシルエット展開を行い、ドレーピングで組み立てる。
検定対策として、ファーストパターンと工業用パターンの特性を理解した作図方法を習得する。

授業計画

I 婦人原型【基礎展開II】

- ④ 講義「ボックスシルエットからプリンセスラインへの展開（4）」
- ⑤ 演習「プリンセスライン ドレーピングデモ」（2）」
- ⑥ 実技「プリンセスラインのパターン作成とドレーピング」（1 2）」

- ① 講義「ボックスシルエットからパネルラインへの展開（4）」
- ② 演習「パネルライン ドレーピングデモ」（2）」
- ③ 実技「パネルラインのパターン作成とドレーピング」（1 2）」

- ④ 講義「衿2種（テーラーカラー・ボーカラー）」（2）」
- ⑤ 演習「衿2種のドレーピングデモ」（2）」
- ⑥ 実技「衿2種のパターン作成とドレーピング」（6）」

- ④ 講義「袖原型からの展開（2枚袖）」（2）」
- ⑤ 演習「袖付けのドレーピングデモ」（1）」
- ⑥ 実技「袖のパターン作成とドレーピング」（3）」

III 検定対策

- 講義「ジャケットシルエットの基礎・ファーストパターンから工業用パターンへ」（3）」
- 実技「ジャケットシルエット工業用パターン作成」（2 5）」

評価方法

5～1で表す
授業態度（10%） 作品完成度（50%） 試験（40%）

主要教材

PM3級テキスト、PM2級テキスト、文化ファッション大系服飾造形講座（ジャケット）、
その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 パターンメイキング	必修	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解し、パターンメイキングとドレーピングの応用を学ぶ。

到達目標

婦人の原型から各種シルエットへの展開方法と、シルエットの関係性を理解する。
パターンメイキング検定対策として、ジャケット工業用パターンの知識を習得する。

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでシルエット展開を行い、ドレーピングで組み立てる。
検定対策として、ファーストパターンと工業用パターンの特性を理解した作図方法を習得する。

授業計画

I 婦人原型【応用展開I】

- ⑦ 講義「ラグラン袖の理解」(2)
- ⑧ 演習「ラグラン袖 ドレーピングデモ」(1)
- ⑨ 実技「ラグラン袖のパターン作成とドレーピング」(6)

- ④ 講義「フードカラーの理解(4種)」(2)
- ⑤ 演習「フードカラー ドレーピングデモ」(1)
- ⑥ 実技「フードカラーのパターン作成とドレーピング」(6)

- ⑦ 講義「ジャケットシルエットの応用〈3枚パーツ〉」(2)
- ⑧ 演習「ジャケットシルエット ドレーピングデモ」(2)
- ⑨ 実技「ジャケット3枚パーツパターン作成とドレーピング」(10)

II 検定対策

- 講義「ジャケットシルエットの応用」(3)
- 実技「ジャケットシルエット工業用パターン作成」(45)

評価方法

5～1で表す
授業態度(10%) 作品完成度(50%) 試験(40%)

主要教材

PM2級テキスト、文化ファッション大系服飾造形講座(ジャケット、コート)、その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程4年 パターンメイキング	選択	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解し、パターンメイキングとドレーピングの応用を学ぶ。

到達目標

特殊素材とシルエットの関係性を理解する。

パターンメイキング・ドレーピングの研究

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでシルエット展開を行い、ドレーピングで組み立てる。

特殊素材に適したパターン作りの知識を習得する。

授業計画

I 婦人原型【応用展開Ⅰ】

- ① 講義「コートシルエットの理解」(1)
- ② 演習「コートシルエット ドレーピングデモ」(1)
- ③ 実技「コートシルエット ドレーピング」(8)

II 婦人原型【応用展開Ⅱ】

- ⑩ 講義「素材別・特殊素材のパターン展開〈皮革〉」(3)
- ⑪ 実技「素材別・特殊素材のパターン作成〈皮革〉」(6)

III ヴィオネ演習

- ① 講義「ヴィオネ副読本より、シルエット3種」(3)
- ② 演習「ヴィオネシルエット 1/2シーチングデモ」(1)
- ③ 実技「ヴィオネシルエット 1/2シーチング作成 3種」(9)

IV 自由研究

デザイン・パターン作成・ドレーピング(48)

評価方法

5～1で表す

授業態度(10%) 作品完成度(50%) 試験(40%)

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座(高級素材・特殊素材)、V I O N N E T副読本、その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単 位	担当教員	教員区分
専門課程1年 CAD	必修	1	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

CAD（ユカ&アルファ使用）の基本操作の理解と習得

到達目標

CADの基本操作を理解し、婦人の原型を作成。
婦人原型を使用しシャツ・スカートのパターンを作成。

授業概要

CADの基本操作を理解しながら、婦人原型の作成。さらに工業用パターンへと仕上げていく。
記号や縫い代付けなども、同時に行う。

授業計画

- I CADの理解
- ④ 講義「CADの基礎」(1)
 - ⑤ 演習「CADの基本操作のデモ」(1)
 - ⑥ 実技「CAD基本操作」(1)
- II 婦人原型作成
- ⑫ 講義「原型操作の基礎」(1)
 - ⑬ 演習「原型操作のデモ」(1)
 - ⑭ 実技「婦人原型作成」(5)
- III スカートパターン作成
- 実技「スカート工業用パターン作成」(10)
- IV ブラウスパターン作成
- 実技「ブラウス工業用パターン作成」(10)
- V 自由作品
- 実技「オリジナルデザインのパターン作成」(10)

評価方法

5～1で表す
授業態度(10%) 作品完成度(40%) 試験(50%)

主要教材

服飾造形の基礎、文化ファッション大系服飾造形講座（ブラウス・スカート） その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 CAD	必修	1	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

CAD（ユカ&アルファ使用）の基本操作の理解と習得

到達目標

CADの基本操作を理解し、パンツ・ワンピースパターンを作成。
マーキング（型入れ）の基本操作の習得。

授業概要

CADの基本操作を理解しながら、パンツとワンピースのパターンを作成。
さらに工業用パターンへと仕上げていく。
記号や縫い代付けなども、同時に行う。マーキングやプロッタなど、周辺機器操作の習得。

授業計画

- I パンツパターン作成
実技「パンツ工業用パターン作成」（1 2）
- II ワンピースパターン作成
実技「ワンピース工業用パターン作成」（1 2）
- III マーキング（型入れ）の理解
- ① 講義「マーキングの基礎」（1）
 - ② 演習「マーキング基礎のデモ」（1）
 - ③ 実技「マーキングの作成（ブラウス・スカート・パンツ・ワンピース）」（2）
- IV 自由作品
実技「オリジナルデザインのパターン作成からマーキングまで」（1 2）

評価方法

5～1で表す
授業態度（10%） 作品完成度（40%） 試験（50%）

主要教材

服飾造形の基礎、文化ファッション大系服飾造形講座（パンツ・ワンピース） その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 CAD	必修	1	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

CAD (ユカ & アルファ使用) の応用操作の理解と習得

到達目標

CAD の応用操作を理解し、原型を展開する。

グレーディングの基本操作の習得。

授業概要

CAD の応用操作を理解しながら、ジャケットパターンを作成。

裏地・芯地パターンの作成、さらに工業用パターンへと仕上げていく。記号や縫い代付けなども同時に行う。

グレーディング操作の理解。

授業計画

- I ジャケットパターン作成
実技「ジャケット工業用パターン作成、裏地・芯地パターンの作成まで」(15)
- II グレーディングの理解
- ④ 講義「グレーディングの基礎」(1)
 - ⑤ 演習「グレーディング基礎のデモ」(1)
 - ⑥ 実技「グレーディングの作成」(2)
- III マーキングの応用
- ① 講義「マーキング応用 (柄合わせ)」(1)
 - ② 演習「マーキング応用のデモ」(1)
 - ③ 実技「マーキングの作成 (ジャケットの表地・裏地・芯地)」(2)
- IV 自由作品
実技「オリジナルデザインのパターン作成からマーキングまで」(17)

評価方法

5～1で表す

授業態度 (10%) 作品完成度 (40%) 試験 (50%)

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座 (ジャケット) その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程4年 CAD	必修	1	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

CAD（ユカ&アルファ使用）の応用操作の理解と習得
 企業のニーズに合わせたCAD操作方法の習得

到達目標

CADの機能を理解し、より効率的に作業を行う。

授業概要

CADの応用操作を理解しながら、コートパターンを作成。
 裏地・芯地パターンの作成、さらに工業用パターンへと仕上げていく。記号や縫い代付けなども、同時に行う。
 ピンタックなどの操作や荒立ちパターンの出し方の理解。仕様書との統合性。

授業計画

- I コートパターン作成
 実技「コート工業用パターン作成、裏地・芯地パターンの作成まで」（15）
- II ピンタックの展開・荒立ちパターンの出し方
 ① 講義「ピンタック操作方法。荒立ちパターンの出し方」（1）
 ② 演習「ピンタック操作のデモ」（1）
 ③ 実技「ピンタックの要素をいれたデザインのパターン作成」（10）
- III 仕様書との統合性
 ① 講義「仕様書とパターン・マーキング・グレーディングの統合性について」（2）
- II 自由作品
 実技「オリジナルデザインのパターン作成からマーキングまで」（11）

評価方法

5～1で表す
 授業態度（10%） 作品完成度（40%） 試験（50%）

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座（コート） その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単 位	担当教員	教員区分
専門課程1年 ドレーピング	必修	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解するとともに、ドレーピングの基礎を学ぶ。

到達目標

シーチングの地直し、取り扱いの理解や、ピン打ちの技術の習得。
 婦人原型を用い、原型の展開方法とシルエットの関係性を理解する。

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでシャツシルエットの展開を行い、ドレーピングで組み立てる。

授業計画

- I シーチング取り扱いの理解、ピン打ち技術の習得
- ⑦ 講義「シーチングの取り扱い、地直し、ピン打ちの基礎」(2)
 - ⑧ 演習「シーチング地直し、婦人原型ドレーピングデモ」(1)
 - ⑨ 実技「シーチング地直し、婦人原型ドレーピング」(10)
- II 婦人原型【基礎展開I】
- ⑮ 講義「ボックスシルエットからウエストシェイプシルエットへの展開〈2種類〉(4)
 - ⑯ 演習「ウエストシェイプシルエット2種 ドレーピングデモ」(2)
 - ⑰ 実技「ウエストシェイプシルエットのパターン作成とドレーピング」(12)
- ⑩ 講義「衿4種(シャツカラー・台衿付きシャツカラー・スタンドカラー・フラットカラー)」(4)
 - ⑪ 演習「衿4種のドレーピングデモ」(4コマ)
 - ⑫ 実技「衿4種のパターン作成とドレーピング」(12)
- ⑦ 講義「袖原型」「袖原型からの展開(パフスリーブ)」(4)
 - ⑧ 演習「袖付けのドレーピングデモ」(2)
 - ⑨ 実技「袖のパターン作成とドレーピング」(6)
- III 修了作品
- 実技「シャツシルエットパターン作成とドレーピング組み立て」(17)

評価方法

5～1で表す
 授業態度(10%) 作品完成度(90%)

主要教材

服飾造形の基礎、文化ファッション大系服飾造形講座(立体裁断)
 その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 ドレーピング	必修	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解するとともに、ドレーピングの基礎を学ぶ。

到達目標

婦人の原型から各種シルエットへの展開方法と、シルエットの関係性を理解する。
スカート、ジャケットのドレーピング技術を習得する。

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでシルエット展開を行い、ドレーピングで組み立てる。

授業計画

I 婦人原型【基礎展開II】

- ⑱ 講義「タイトスカートからフレアシルエットへの展開（4）」
- ⑲ 演習「タイトスカート ドレーピングデモ」（2）」
- ⑳ 実技「タイトスカートのパターン作成とドレーピング」（1 2）」

- ⑦ 講義「ボックスシルエットからパネルラインへの展開（4）」
- ⑧ 演習「パネルライン ドレーピングデモ」（2）」
- ⑨ 実技「パネルラインのパターン作成とドレーピング」（1 2）」

- ⑬ 講義「衿2種（テーラーカラー・ショールカラー）」（2）」
- ⑭ 演習「衿2種のドレーピングデモ」（2）」
- ⑮ 実技「衿2種のパターン作成とドレーピング」（6）」

- ⑩ 講義「袖原型からの展開（2枚袖）」（2）」
- ⑪ 演習「袖付けのドレーピングデモ」（1）」
- ⑫ 実技「袖のパターン作成とドレーピング」（3）」

III 修了作品

実技「ジャケットパターン作成とドレーピング組み立て」（2 5）」

評価方法

5～1で表す

授業態度（10%） 作品完成度（90%）

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座（ジャケット、スカート、立体裁断）、
その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 ドレーピング	必修	2	間瀬 利永子	学内教員

授業の目的

人体を立体的に理解し、パターンメイキングとドレーピングの応用を学ぶ。

到達目標

婦人の原型から各種シルエットへの展開方法と、シルエットの関係性を理解する。

授業概要

婦人原型を元に、パターンメイキングでコートシルエットの展開を行い、ドレーピングで組み立てる。

授業計画

I 婦人原型【応用展開I】

- 21 講義「ラグラン袖の理解」(2)
- 22 演習「ラグラン袖 ドレーピングデモ」(1)
- 23 実技「ラグラン袖のパターン作成とドレーピング」(6)

- ⑩ 講義「フードカラーの理解(4種)」(2)
- ⑪ 演習「フードカラー ドレーピングデモ」(1)
- ⑫ 実技「フードカラーのパターン作成とドレーピング」(6)

- ⑯ 講義「ジャケットシルエットの応用〈3枚パーツ〉」(2)
- ⑰ 演習「ジャケットシルエット ドレーピングデモ」(2)
- ⑱ 実技「ジャケット3枚パーツパターン作成とドレーピング」(10)

II 修了作品

実技「コートシルエットパターン作成とドレーピング組み立て」(45)

評価方法

5～1で表す

授業態度(10%) 作品完成度(90%)

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座(ジャケット、コート、立体裁断)、その他適宜プリント配布

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 F・Bマーケティング	必修	6	稲守正一	非常勤講師

授業の目的

マーケティングの概念を軸に、世界のトレンドや動向などを把握。
実践的なアパレル活動に繋がることを目的とする。

到達目標

アパレルの実務の理解、ファッショントレンドの把握と、実践。
アパレルデザイン企画への落とし込み方。マーケットリサーチによる市場の把握。

授業概要

春夏、秋冬、年2回のファッショントレンドの解説をしながら、時代の読み取り、先見性を見解する。
各ブランドの特性を知り、社会的な役割を学ぶ。マーケットリサーチ。

授業計画

1.トレンド		
○コレクション解説（講義）	全体傾向	
○コレクションプリント（課題）制作（実技）	各都市のコレクション トレンド シルエット カラー ファブリック アイテム ディテール	(90)
2.マーケティング（講義）（実践）		
○マーケティングプリント（課題）制作（実技）		(66)
3.コレクションにみる様々な配色（講義）	トーンイントーン トーンオントーン コントラスト e t c	(16)
○プリント（課題）制作（実技）		
4.コレクション色彩イメージ	STRONG SOFT WARM COOL e t c	(16)
○プリント（課題）制作（実技）		
5.デザイン発想		
様々なテーマにおいて、発想からデザインへの落とし込み方。		(52)

評価方法

授業態度、提出課題の総合評価

主要教材

配布プリント（課題）、コレクション雑誌（GAPなど）

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 F・Bマーケティング	必修	6	稲守正一	非常勤講師

授業の目的

マーケティングの概念を軸に、世界のトレンドや動向などを把握。
実践的なアパレル活動に繋がることを目的とする。

到達目標

アパレルの実務の理解、ファッショントレンドの把握と、実践。
アパレルデザイン企画への落とし込み方。マーケットリサーチによる市場の把握。

授業概要

春夏、秋冬、年2回のファッショントレンドの解説をしながら、時代の読み取り、先見性を見解する。
各ブランドの特性を知り、社会的な役割を学ぶ。マーケットリサーチ。

授業計画

1.トレンド		
○コレクション解説（講義）	全体傾向	
○コレクションプリント（課題）制作（実技）	各都市のコレクション トレンド シルエット カラー ファブリック アイテム ディテール	(90)
2.マーケティング（講義）（実践）		
○マーケティングプリント（課題）制作（実技）		(66)
3.コレクションにみる様々な配色（講義）	トーンイントーン トーンオントーン コントラスト e t c	(16)
○プリント（課題）制作（実技）		
4.コレクション色彩イメージ	STRONG SOFT WARM COOL e t c	(16)
○プリント（課題）制作（実技）		
5.デザイン発想		
様々なテーマにおいて、発想からデザインへの落とし込み方。		(52)

評価方法

授業態度、提出課題の総合評価

主要教材

配布プリント（課題）、コレクション雑誌（GAPなど）

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程1年 デザイン画	必修	4	北野 淳子	非常勤講師

授業の目的

ファッションにかかわるデザインの基礎を習得し作品を制作する

到達目標

日常生活の中で関連する事物のデザインに着目し、表現できる技術の習得
社会生活における諸課題を創造的に解決表現する知識と能力を身につける

授業概要

自由な発想のファッションデザインを、現実のものづくりで表現する手段となるファッションデザイン画の基礎を学び、衣服のディテールや素材などそれぞれの目的にあった表現法を身につける。各種コンテストも参加する経験も授業として実施する。

人間の身体のプロポーションや動きを着装描法、画材の特性研究を経て、さらに個性的で柔軟な発想の描法を習得する

授業計画

- ① 顔【1】 パーツの位置の把握と形の理解 (8)
- ② 手・脚の形を理解し、ポーズの描法演習 (8)
- ③ プロポーション【1】 基本ポーズの作成(正面) (5)
- ④ プロポーション【1】 基本ポーズの作成(横・後) (5)
- ⑤ 着装【1】 ベーシックアイテムの着装からデザイン及び動作による服の変化の理解 (5)
- ⑥ 着装【2】 動作による衣服のしわの変化の理解 (5)
- ⑦ 着彩【1】 画材の特性とスタイル画における使用手順・効果を理解し様々な着彩法を演習 (8)
- ⑧ 着彩【2】 素材との相性を理解し着彩法を演習 (8)
- ⑨ 布の表現(ギャザー、フレア、ドレープ) (8)
- ⑩ コンテストデザイン発想 (23) ※①～⑩、定期テスト 前期
- ⑪ 素材別表現法【1】 基本素材を中心に画材の組み合わせを研究 (8)
- ⑫ 素材別表現法【2】 基本素材を中心に画材の組み合わせを研究し、織柄の描法演習 (8)
- ⑬ シルエットの変化とダーツ、切替線などデザイン線の理解 (5)
- ⑭ ハンガーイラスト基本演習(シャツ) (8)
- ⑮ ハンガーイラスト基本演習(ジャケット) (8)
- ⑯ ハンガーイラスト基本演習(スカート) (8)
- ⑰ ハンガーイラスト基本演習(パンツ) (8)
- ⑱ チャイルドプロポーションの研究【3】 (5)
- ⑲ プロポーション【4】 メンズ基本ポーズ (8)
- ⑳ 発想の自由な表現方法の演習(コンテスト参加) (11) ※⑪～⑳、定期テスト 後期

評価方法

出席状況・受講態度 30% 提出課題 50% 定期試験 20%

主要教材

文化ファッション大系ファッションデザイン画 プリント

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 デザイン画	必修	4	北野 淳子	非常勤講師

授業の目的

ファッションにかかわるデザインの基礎を習得し作品を制作する

到達目標

日常生活の中で関連する事物のデザインに着目し、表現できる技術の習得
社会生活における諸課題を創造的に解決表現する知識と能力を身につける

授業概要

自由な発想のファッションデザインを、現実のものづくりで表現する手段となるファッションデザイン画の基礎を学び、衣服のディテールや素材などそれぞれの目的にあった表現法を身につける。各種コンテストも参加する経験も授業として実施する。

人間の身体のプロポーションや動きを着装描法、画材の特性研究を経て、さらに個性的で柔軟な発想の描法を習得する

授業計画

- ① 顔【1】 パーツの位置の把握と形の理解 (8)
- ② 手・脚の形を理解し、ポーズの描法演習 (8)
- ③ プロポーション【1】 基本ポーズの作成(正面) (5)
- ④ プロポーション【1】 基本ポーズの作成(横・後) (5)
- ⑤ 着装【1】 ベーシックアイテムの着装からデザイン及び動作による服の変化の理解 (5)
- ⑥ 着装【2】 動作による衣服のしわの変化の理解 (5)
- ⑦ 着彩【1】 画材の特性とスタイル画における使用手順・効果を理解し様々な着彩法を演習 (8)
- ⑧ 着彩【2】 素材との相性を理解し着彩法を演習 (8)
- ⑨ 布の表現(ギャザー、フレア、ドレープ) (8)
- ⑩ コンテストデザイン発想 (23) ※①～⑩、定期テスト 前期
- ⑪ 素材別表現法【1】 基本素材を中心に画材の組み合わせを研究 (8)
- ⑫ 素材別表現法【2】 基本素材を中心に画材の組み合わせを研究し、織柄の描法演習 (8)
- ⑬ シルエットの変化とダーツ、切替線などデザイン線の理解 (5)
- ⑭ ハンガーイラスト基本演習(シャツ) (8)
- ⑮ ハンガーイラスト基本演習(ジャケット) (8)
- ⑯ ハンガーイラスト基本演習(スカート) (8)
- ⑰ ハンガーイラスト基本演習(パンツ) (8)
- ⑱ チャイルドプロポーションの研究【3】 (5)
- ⑲ プロポーション【4】 メンズ基本ポーズ (8)
- ⑳ 発想の自由な表現方法の演習(コンテスト参加) (11) ※⑪～⑳、定期テスト 後期

評価方法

出席状況・受講態度 30% 提出課題 50% 定期試験 20%

主要教材

文化ファッション大系ファッションデザイン画 プリント

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程3年 デザイン画	必修	4	北野 淳子	非常勤講師

授業の目的

ファッション関連企業への就職を希望する学生の基本知識と専門技術の向上
専門的な技術の向上と表現方法を研究しアイデアを深く考察する

到達目標

生活の中で必要不可欠な衣服や小物において、デザインの重要性を理解すること
それぞれのテーマをみつけ、生活の中でデザインによって得られる生活の向上や満足感と重要性の理解

授業概要

ファッショントレンド情報の理解と基礎知識を学び、企業で実践的なデザイン画であるハンガーイラストの表現方法の研究と、各種コンテストへ積極的に参加することで各自テーマを持つ柔軟な思考力でコンセプトを研究し、問題解決する力を習得する授業を実施する

授業計画

- ① 顔【2】 いろいろな角度の研究 (8)
- ② クロッキー 顔の研究 (5)
- ③ プロポーション【2】 ポーズの研究Ⅰ (8)
- ④ 早描き (ファッション雑誌を使用) (5)
- ⑤ プロポーション【2】 ポーズの研究Ⅱ (8)
- ⑥ テーマに沿ったイメージデザインの描法演習 (17)
- ⑦ クロッキー ポーズの研究 (8)
- ⑧ デイテール演習【1】 トップス(衿・袖) (5)
- ⑨ デイテール演習【2】 ボトムス(スカート・パンツ) (8)
- ⑩ シルエットの研究 (8) ※①～⑩、定期テスト 前期
- ⑪ ハンガーイラスト演習【1】 トップス (8)
- ⑫ ハンガーイラスト演習【2】 ボトムス (8)
- ⑬ ハンガーイラスト演習【3】 ジャケット (8)
- ⑭ ハンガーイラスト演習【4】 ワンピース・コート (8)
- ⑮ 早描き① (ファッション雑誌を使用) (8)
- ⑯ 早描き② (ファッション雑誌を使用) (8)
- ⑰ プロポーション【3】 メンズポーズの研究 (8)
- ⑱ プロポーション【4】 チャイルドポーズの研究 (11)
- ⑲ クロッキー 手の研究 (5)
- ⑳ クロッキー 描法研究 (8) ※⑪～⑳、定期テスト 後期

評価方法

出席状況・受講態度 20% 提出課題 60% 定期試験 20%

主要教材

文化ファッション大系ファッションデザイン画 プリント

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程4年 デザイン画	必修	4	北野 淳子	非常勤講師

授業の目的

ファッション関連企業への就職を希望する学生の基本知識と専門技術の向上
専門的な技術の向上と表現方法を研究しアイデアを深く考察する

到達目標

生活の中で必要不可欠な衣服や小物において、デザインの重要性を理解すること
それぞれのテーマをみつけ、生活の中でデザインによって得られる生活の向上や満足感と重要性の理解

授業概要

ファッショントレンド情報の理解と基礎知識を学び、企業で実践的なデザイン画であるハンガーイラストの表現方法の研究と、各種コンテストへ積極的に参加することで各自テーマを持つ柔軟な思考力でコンセプトを研究し、問題解決する力を習得する授業を実施する

授業計画

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 21 顔【2】 いろいろな角度の研究 (8) | |
| 22 クロッキー 顔の研究 (5) | |
| 23 プロポーション【2】 ポーズの研究Ⅰ (8) | |
| 24 早描き (ファッション雑誌を使用) (5) | |
| 25 プロポーション【2】 ポーズの研究Ⅱ (8) | |
| 26 テーマに沿ったイメージデザインの描法演習 (17) | |
| 27 クロッキー ポーズの研究 (8) | |
| 28 デイテール演習【1】 トップス(衿・袖) (5) | |
| 29 デイテール演習【2】 ボトムス(スカート・パンツ) (8) | |
| 30 シルエットの研究 (8) | ※①～⑩、定期テスト 前期 |
| 31 ハンガーイラスト演習【1】 トップス (8) | |
| 32 ハンガーイラスト演習【2】 ボトムス (8) | |
| 33 ハンガーイラスト演習【3】 ジャケット (8) | |
| 34 ハンガーイラスト演習【4】 ワンピース・コート (8) | |
| 35 早描き① (ファッション雑誌を使用) (8) | |
| 36 早描き② (ファッション雑誌を使用) (8) | |
| 37 プロポーション【3】 メンズポーズの研究 (8) | |
| 38 プロポーション【4】 チャイルドポーズの研究 (11) | |
| 39 クロッキー 手の研究 (5) | |
| 40 クロッキー 描法研究 (8) | ※⑪～⑳、定期テスト 後期 |

評価方法

出席状況・受講態度 20% 提出課題 60% 定期試験 20%

主要教材

文化ファッション大系ファッションデザイン画 プリント

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程 1～4年生 ディスプレイ	選択	5	澤田 ひとみ	非常勤講師

授業の目的

ディスプレイ全般の基礎知識を理解し、各技術、プレゼンテーション力をつける

到達目標

ディスプレイを MD や販売計画などに連動させ、一目で分かる訴求力でプランニング→VP システムを完成させる

授業概要

ディスプレイは VP システムの一環であることや、専門知識、理論と技術を学び、個人、グループとしてテーマに合わせたショーイングを完成させる。ショーイングに欠かせないイメージの作り方・演出物オブジェ・必要な技術テクニックを習得する。

授業計画

- ◇講義（30） ディスプレイの目的と役割
- ・ディスプレイの基礎知識（VMD、VP、IP、PP）
 - ・ディスプレイ構成の基本 平面構成 立体構成
- ◇演習（70）
- ・ディスプレイテーマの作り方（10）
 - ・イメージコラージュ作成（20）
 - ・イメージスケッチ（5）
 - ・制作物（30）
 - ・グループ活動（5）
- ◇作業技術（100）（実技）
- ・プランニングからショーイング完成までの流れを習得（45）
 - グループで春・夏・秋・冬それぞれのテーマを決め、プランニングで明確に表現し、ショーイングを完成させる
 - （※プランニング：テーマ→コラージュ→イメージスケッチ）
 - ・コラージュ（10）
 - ・ピンワーク（10）
 - ・ラッピング（5）
 - ・オブジェ制作（10）
 - ・造花の扱い方（10）
 - ・カラーコントロール（5）
 - ・素材の組み合わせ方（10）
 - ・市場・店舗の演出を学ぶ市場調査（5）

評価方法

講義：	出席状況	授業態度	提出課題	プレゼンテーション
実技：	出席状況	授業態度	提出課題	表現力

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程1年 色彩	必修	2	澤田 ひとみ	非常勤講師

授業の目的

色彩の基礎知識を学び、あらゆる生活・商業シーンでのカラーコーディネートの習得、実践。

到達目標

- ・色彩の基礎知識 習得
- ・「色彩検定3級」 取得

授業概要

人間のとりまく環境は全て色と接していることを知り、色が見える原理・働きや役割などの色彩の基本的知識を学ぶ。

色の体系である PCCS を基に配色・効果を学ぶ。

授業計画

講義

- ・色のはたらき、役割、色彩の基礎 (4)
- ・色名、色の表示 (4)
- ・色の分類、三属性 (8)
- ・PCCS (6)
- ・光と色 (6)
- ・色彩心理 (8)
- ・色彩調和 (8)
- ・ファッションと色彩 (8)
- ・インテリアと色彩 (8)
- ・流行色の歴史 (6)

- ・カラーチャート作成+配色イメージ
配色カード 199a 使用
- ・検定試験対策 (14)

評価方法

授業態度、提出課題、定期試験

主要教材

色彩検定公式テキスト3級、新配色カード199a

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
専門課程2年 色彩	選択	2	澤田 ひとみ	非常勤講師

授業の目的

色彩の基礎知識を学び、あらゆる生活・商業シーンでのカラーコーディネートの習得、実践。

到達目標

- ・色彩の基礎知識 習得
- ・「色彩検定3級」 取得

授業概要

人間のとりまく環境は全て色と接していることを知り、色が見える原理・働きや役割などの色彩の基本的知識を学ぶ。

色の体系である PCCS を基に配色・効果を学ぶ。

授業計画

講義

- ・色のはたらき、役割、色彩の基礎 (4)
- ・色名、色の表示 (4)
- ・色の分類、三属性 (8)
- ・PCCS (6)
- ・光と色 (6)
- ・色彩心理 (8)
- ・色彩調和 (8)
- ・ファッションと色彩 (8)
- ・インテリアと色彩 (8)
- ・流行色の歴史 (6)

- ・カラーチャート作成+配色イメージ
配色カード 199a 使用
- ・検定試験対策 (14)

評価方法

授業態度、提出課題、定期試験

主要教材

色彩検定公式テキスト3級、新配色カード199a

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程 1～3年 文章の書き方	必修	2	伊藤 美代子	校長

授業の目的

就職したり、社会人としての常識として知らなければならない事等を3年間で学ぶ

到達目標

目的の事を実技と共に行うことによって、文章も上達し、いろいろのきめ事も知ることが出来る。就職しても困らないようにする。

授業概要

公的な書類の作製、手紙の書き方、目的を相手にしっかり伝えられるように指導する。必要な礼儀。論文の書き方、報告文、事務文書、読書感想文など。

授業計画

◇1年 講義(50)実技(30) 2単位	◇2年 講義(50)実技(30) 2単位	◇3年 講義(30)実技(50) 2単位
<p>・書く時の悩みに対して、題材を見つけるヒント</p> <p>①経験や知識を生かす</p> <p>②手がかりのことばを利用</p> <p>題材を出す(実技)</p> <p>・文章の内容を考えるヒント</p> <p>題材に対して内容を考え、文章を書く(400字)</p> <p>・構想を立てるヒント</p> <p>文章の目的によって適したアウトラインの型を示す</p> <p>例:読書感想文を書く。本は自由。校長の映画評論文の中から選んでもよい(400字2枚以上)</p> <p>2時間×40週=80時間(実技)</p>	<p>・表現のためのヒント</p> <p>①分かりやすい表現</p> <p>②書き出し技法</p> <p>③文体の違い</p> <p>④語の意味はどうか</p> <p>・表現のためのルール</p> <p>①文章を書くための必要な知識</p> <p>②文字体系の使い分け</p> <p>③横書きの方法</p> <p>④現代仮名遣い</p> <p>⑤送り仮名</p> <p>⑥原稿用紙の使い方</p> <p>例:横書きで題は自由(400字2枚以上)</p> <p>2時間×40週=80時間(実技)</p>	<p>・各種文章の書き方</p> <p>①手紙文</p> <p>友人への手紙</p> <p>②小論文</p> <p>校外授業について</p> <p>③報告分</p> <p>情報収集について</p> <p>④事務文書</p> <p>ファッションショーへの招待、ショーテーマについての説明文</p> <p>2時間×40週=80時間(実技)</p>

評価方法

第1に出席率(2/3以上)・評価は5、4、3、2、1(不可)

第2に提出物(100%)

主要教材

新聞・織研新聞・雑誌(デザイン又はファッション系)・座右の本・校長の出版本

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程 1～3年 総合デザイン	必修	2	伊藤 顕	学内教員

授業の目的

デザインと芸術の違いを理解し、その心がまえを正しくさせる

到達目標

デザイナーは売れなければ良いデザインとは言えない。これが芸術像との違いである事をしっかり認識出来るようになる事

授業概要

生活の一部になっているあらゆる物から、人とのコミュニケーションまで、デザイナーとして必要な条件であるため、広義の意味でのデザインを理解する

授業計画

◇1年～3年【通年】 講義（60）実技（20）

2単位×3年間

- ①デザインの意義（デザインの語義と条件）（デザインの創造性）
- ②デザインの分野（プロダクトデザイン・コミュニケーションデザイン・スペースデザイン）
- ③デザインの過程（デザイン設計過程・アパレルの生産工程）
- ④服装の意味（服装の類語と条件・服装の起源、材能、題型）（近代における服装の流れ・着装の効果）
- ⑤服装の美（美について・服装における美）
- ⑥美的形式原理（統一・調和・リズム・バランス・プロポーション）
- ⑦点と線のデザイン（基礎・服装において）（変わった線を探す・独創的な線を考える・実際に線を描く）（テクニックを合成して線を描く）

2時間×40週=80時間

評価方法

第1に出席率（2/3以上）・評価は5、4、3、2、1（不可）

第2に提出物（100%）

主要教材

服装デザイン論・デザインの発想・服飾デザイン

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程 1～3 年 デザイン画	必修	2	北野 淳子	非常勤講師

授業の目的

ファッションデザインにおける、アイデアの展開方法と表現方法を学ぶ

到達目標

ファッションデザインを発想し、そのアイデアを他人に伝える知識と技術を習得する。

授業概要

服の構造・テキスタイル・表現力を学び、ファッションデザインにおけるアイデアの展開方法と、その表現方法を実習して研究します。

授業計画

◇1年	◇2年	◇3年
リアルクローズについて学ぶ	デザイン発想	ファッションデザイン表現応用
①ファッションデザイン画の基本 ・線の特徴を知る ・立体的表現法 ・顔、手、足、靴など、部分的パーツの研究 ・全身ポーズ(メンズ、レディース)の研究	①ファッションデザイン画の基本 ・メンズ ・チャイルド } のポーズ研究 ・画材の特徴を知る	①ファッションデザイン画の応用 ・色々なポーズの研究 ・着色方法の応用 ・表現方法の応用 (精密画、影塗り)
②服の構造を知る (ハンガーイラスト・部分練習)	②服の構造 ・ハンガーイラストと共に基本アイテムを表現する練習	
③テキスタイルを描く、柄を描く	③テキスタイルを描く (レース、ニット、チェック等)	

評価方法

・出席率 (2/3 以上) ・評価は 5、4、3、2 1 (不可)
・提出物 (100%)

主要教材

・雑誌 (ファッション系雑誌) ・プリント

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程1年 服造	必修	16	平井 多美江	教員

授業の目的

服飾造形を主としてデザイン、パターン、縫製など基礎から応用までを学ぶ

到達目標

自らデザイン、パターン、縫製までを行えるようになる事を目標とする

授業概要

基本となるデザイン発想から、それを形にするプロセスの指導を行う

授業計画

デザイン学

- ・デザインについての考え方・流行について・年齢、用途を考えたデザイン・顔の形とネックライン
- ・雑誌の見方・体型に合ったデザイン

パターンメイキング

- ・基礎原型・袖・ダーツの取り方・襟・ブラウス基本型・ブラウス応用型・スカート基本型
- ・スカート応用型・パンツ基本型・パンツ応用型・ワンピース基本型・ワンピース応用型
- ・サマーウェア・囲み製図

ソーイング

- ・基礎縫い・用尺の見積もり方・ミシンの使い方・穴かがり機の使い方・ロックミシンの使い方・裁断の仕方
- ・ブラウスの縫製の仕方と順序・ポケットの縫い方・短冊の縫い方・ボタンの付け方
- ・スカートの縫製の仕方と順序・ファスナーの縫い方・パンツの縫製の仕方と順序・本股開きの縫い方

16時間×40週=640時間（実技）

評価方法

出席率

提出物

5段階評価

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座 服飾造形の基礎
文化ファッション大系服飾造形講座 スカート・パンツ
文化ファッション大系服飾造形講座 ブラウス・ワンピース

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程2年 服造	必修	16	平井 多美江	教員

授業の目的

服飾造形を主としデザイン、パターン、縫製など基礎から応用までを学ぶ

到達目標

自らデザイン、パターン、縫製までを行えるようになる事を目標とする

授業概要

基本となるデザイン発想から、それを形にするプロセスの指導を行う

授業計画

デザイン学

- ・ワーキングウェアのデザインについての考え方・柄の流行について
- ・年齢、用途を考えた流行のデザイン・タウンウェアのデザインについての考え方
- ・雑誌の見方応用・体型に合った流行のデザイン・マタニティウェアのデザイン・コートのデザイン
- ・オケーションによるデザイン・子供服のデザイン

パターンメイキング

- ・ワーキングウェア基本型・ワーキングウェア応用型・タウンウェア基本型・タウンウェア流行のシルエット
- ・子供服基本型・子供服応用型・ワンピース基本型・ワンピース流行のシルエット
- ・マタニティウェア体型の理解とゆとり・コートの種類別パターン・

ソーイング

- ・ワーキングウェアの縫製の仕方と順序・ステッチのかけ方・生地の見積もり方
- ・タウンウェアの縫製の仕方と順序・袖の色々な縫い方・ポケットの色々な縫い方
- ・マーキングを正確に行う・素材の理解・ディテールについての理解

16時間×40週=640時間（実技）

評価方法

出席率

提出物

5段階評価

主要教材

- | | |
|------------------|------------|
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | 服飾造形の基礎 |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | スカート・パンツ |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | ブラウス・ワンピース |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | コート・ケープ |

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程3年 服造	必修	16	平井 多美江	教員

授業の目的

服飾造形を主としデザイン、パターン、縫製など基礎から応用までを学ぶ

到達目標

自らデザイン、パターン、縫製までを行えるようになる事を目標とする

授業概要

基本となるデザイン発想から、それを形にするプロセスの指導を行う

授業計画

3年

デザイン学

- ・ 応用デザインについての考え方・トレンド分析・年齢、用途を考えたデザインの応用
- ・ レインコートの機能性とデザイン・トラベルウェアの機能性とデザイン・ニットの機能性とデザイン
- ・ 体型に合ったデザインの応用・テーラードジャケットのデザインについての考え方

パターンメイキング

- ・ レインコート基本型・レインコート応用型・トラベルウェア基本型・トラベルウェア流行のシルエット
- ・ ニット基本型・ニット応用型・テーラードジャケット基本型・テーラードジャケット流行のシルエット
- ・ モデル体型の理解・

ソーイング

- ・ レインコートの縫製の仕方と順序・比翼開き・生地の見積もり方の応用
- ・ トラベルウェアの縫製の仕方と順序・袖の色々な縫い方
- ・ ニットの縫製の仕方と順序・素材の理解と応用・ディテールについての理解と応用
- ・ テーラードジャケットの縫製の仕方と順序・ポケットの色々な縫い方・接着芯の貼り方・くせとり

16時間×40週=640時間（実技）

評価方法

出席率

提出物

5段階評価

主要教材

文化ファッション大系服飾造形講座	服飾造形の基礎
文化ファッション大系服飾造形講座	スカート・パンツ
文化ファッション大系服飾造形講座	ブラウス・ワンピース
文化ファッション大系服飾造形講座	ジャケット・ベスト
文化ファッション大系服飾造形講座	コート・ケープ

科目名	必修・選択	単位	担当教員	教員区分
高等課程1～3年 概論	必修	1	平井 多美江	教員

授業の目的

服飾造形知識を概論という観点から学び理解を深める

到達目標

服飾デザイン、概論知識の総合的な理解

授業概要

テキストを使い基礎から応用までを学んでいく

授業計画

1年

- ・衣服の歴史・ブラウス（歴史 種類 名称）・スカート（歴史 種類 名称）
- ・ワンピース（歴史 種類 名称）・レジャーウエアについて・洗濯・しみ抜き
- ・パンツ（歴史 種類 名称）・スポーツウエアについて・子供服について・ベビー服について

2年

- ・ワーキングウエア運動機能性の研究・プリーツスカート（歴史 種類 名称）・素材について
- ・子供服の商品としての研究・タウンウエアの流行とシルエット分析
- ・マタニティウエアの体型とウエアとの関係性・コート（歴史 種類 名称）
- ・フォーマルウエア（歴史 種類 名称）・子供服の機能性とデザイン

3年

- ・アパレルの仕組みと商品について・レインコート（歴史 種類 名称）・フレアーの研究
- ・ニット（歴史 種類 名称）・ニット製品のデザインと用途・メンズファッションについて
- ・テーラードジャケット（歴史 種類 名称）・礼服（歴史 種類 名称）
- ・ウエディングドレス（歴史 種類 名称）

1時間×40週＝40時間（講義）

評価方法

出席率

提出物

5段階評価

主要教材

- | | |
|------------------|------------|
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | 服飾造形の基礎 |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | スカート・パンツ |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | ブラウス・ワンピース |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | ジャケット・ベスト |
| 文化ファッション大系服飾造形講座 | コート・ケープ |